

EMC 導入事例



株式会社ワコム

ペンタブレットメーカー大手の株式会社ワコム様(以下、ワコム)では、バックアップシステムの再構築を実施しました。従来は様々な業務サーバごとに個別にバックアップを行っており、日々の作業に大きな負担が掛かっていました。また、テープベースでの運用を行っていたことから、万一の大規模自然災害時などに、迅速な業務復旧が行えない点も大きな課題でした。こうした点を解消し、最適なバックアップ環境を実現するのが今回のプロジェクトの狙いです。同社ではそのためのインフラとして、ネットワールドが提供するストレージソリューション「EMC Avamar」を採用。各サーバのバックアップを統合すると同時に、高度な重複排除機能を活かして、本社・データセンタ間でのディザスタリカバリ・システムも構築。業務運用の効率化と安心・安全を同時に実現しています。

EMC Avamarで本社・データセンタ間のディザスタリカバリ・システムを構築 バックアップ運用の効率化にも成功



株式会社ワコム
財務本部
ERP推進部 プロジェクトグループ
今泉 光央 氏



株式会社ワコム
財務本部
ERP推進部 プロジェクトグループ
森山 俊彦 氏

高い技術力と豊富なノウハウで 世界中のクリエイターを支える

映画や3DCGなど、映像制作の最先端分野で強い存在感を示す企業がワコムである。同社の主力商品であるペンタブレットは、世界中の映像クリエイターにとって欠くことのできないツールになっている。日本の著名な漫画家やイラストレーターにも、同社製品の愛用者は数多い。その多彩な機能や自然なタッチが、数々の名作を生み出す原動力となっているのだ。さらに同社では、ペンタブレット事業で培った技術やノウハウを幅広い領域へ展開。ヒューマンインターフェースの総合企業へと生まれ変わろうとしている。

世界中でビジネスを展開する企業だけに、ITのグローバル対応にも積極的に取り組んでいる。ワコム 財務本部 ERP推進部 プロジェクトグループ 森山 俊彦氏は「ネットワークの整備や海外拠点との基幹システム共通化など、グローバルな情報活用を支援する様々な施策を展開中です」と説明する。

また、その一方で、運用管理の効率化や工数削減も推進している。ワコム 財務本部 ERP推進部 プロジェクトグループ 今泉 光央氏は「内部統制対応をはじめとして、IT部門の業務領域は大きく広がっています。限られた人員で業務をこなしていくためにも、効率的な業務環境の実現に力を注いでいます」と語る。

サーバ増加でバックアップ負担が増大 災害時の迅速な業務復旧も課題に

同社では2009年末より、バックアップシステムの刷新に着手した。その背景にあったのは、サーバ台数の急速な増加である。「以前の基幹システムは本番機のみでの構成でしたが、内部統制への対応で開発機や検証機の数が増加。また、社内向けサービスの拡充に伴って、情報系サーバの台数も増える一方でした」と森山氏は説明する。

従来のバックアップ運用では、こうした大量のサーバ群のバックアップを、それぞれ個別に手作業で行っていた。「各サーバには別々にテープ装置などが接続されていた上に、業務に使用するバックアップソフトも担当者によって異なっていました。こうした状態では、とても効率的な運用は望めません」と今泉氏は説明する。

また、バックアップ作業の煩雑化に加えて、業務データ量の増大に伴うバックアップ時間の長時間化も大きな問題であった。安価なストレージを購入してディスク・トゥ・ディスクでのバックアップも試みたが、ファイルサーバのフルバックアップが、土日の二日間を掛けても終わらないような状況だったという。

さらに、日々のバックアップ業務以外にも、もう一つ大きな課題があった。それは、万一の大規模自然災害などに対する事業継続性の確保である。従来の運用では、バックアップテープ

<ユーザー概要>

株式会社ワコム

所在地：埼玉県加須市豊野台2-510-1
設立：1983年7月12日
URL：http://www.wacom.co.jp/
事業内容：世界的なシェアを誇るペンタブレット業界のリーディング・カンパニー。個人向け、法人向けの多彩な製品群をグローバルに提供。また、パソコン/モニターメーカー向けのコンポーネント事業やCAD事業、音楽機器事業などの事業も展開している。

<パートナー概要>

英工電機株式会社 EIKOH DENKI CO., LTD.

所在地：東京都千代田区東神田1-10-6
設立：1958年6月5日
URL：http://www.eikohdenki.co.jp/

EMC 導入事例

を毎日専門の業者に渡し、遠隔地での保管を行っていた。これでも、データ自体の安全性は一応確保されるが、業務復旧に関してはすぐというわけにはいかない。「現場のユーザからは、たまに数日前のデータに戻したいというリクエストが来ることもあります。こうした場合も、いちいち業者に連絡してテープを持ってきてもらう必要がありました」と森山氏は語る。

同社では、これらの業務課題を解決すべく、最適なバックアップ環境を実現できるソリューションの選定に着手。その結果選ばれたのが、ネットワークが提供するストレージソリューション「EMC Avamar」(以下、Avamar)であった。

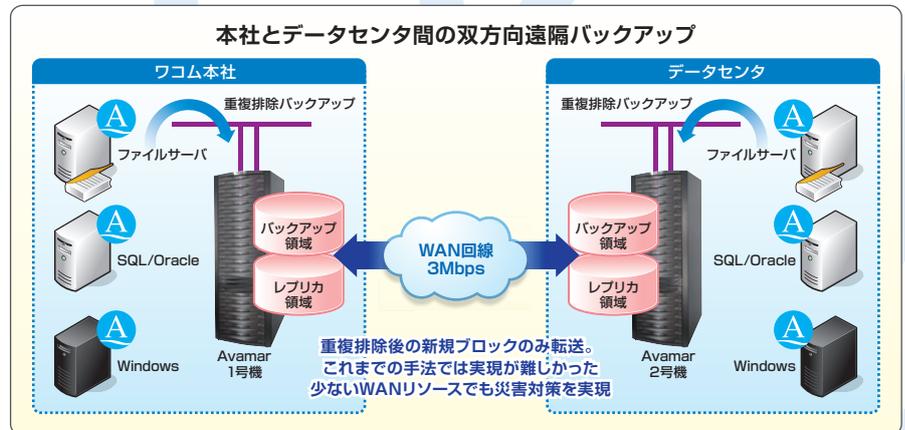
Avamarによるバックアップ統合で コスト削減と運用改善を目指す

Avamarに関心を持った理由を、森山氏は「まずはVMwareとの親和性の高さですね。当社では将来的にサーバ群の仮想統合を検討しているため、仮想環境のバックアップも効率的に行えるAvamarは非常に魅力的でした」と説明する。ちょうどネットワークとEMCの共催によるイベントが開催されたため、製品をチェックするために参加。そこで着目したのが、コスト削減効果と運用改善効果の高さである。

先にも触れた通り、同社ではサーバごとに別々のバックアップソフトを導入しており、そのエージェントに掛かるライセンス費用がTCO増大の要因になっていた。今泉氏は「その点、Avamarなら、ファイルサーバだけでなく、OracleやMicrosoft SQL Serverなどについてもエージェントが無償で提供されます。既存のバックアップソフトをAvamarに置き換えてしまえば、今後さらにサーバが増えなくてもエージェント費用が嵩む心配がない。しかも、運用をAvamarに統一することで、作業の標準化・効率化も図れます」と語る。

また、Avamarの特長である重複排除機能も大きな決め手となった。この機能はサブブロックレベルで重複データを排除し、バックアップデータの量を最大1/500にまで削減できる機能。日々のバックアップ業務はもちろん、大量のデータを遠隔地サイトに転送する際にも絶大な威力を発揮する。

実は同社でも、基幹システムを本社からデータセンターへ移設することになっており、こ



れを機に従来の遠隔地テープ保管を、ネットワークを利用したディザスタリカバリシステムに変更したいと考えていた。ただし、バックアップのトラフィックが回線帯域を占有してしまうような事態を懸念していたのだ。「しかしAvamarの重複排除機能を活かせば、それほど太くない帯域でもディザスタリカバリが実現できる。これはいいと感じましたね」(森山氏)。

大幅に軽減された作業負担 迅速な業務復旧も実現

Avamarによる新たなバックアップシステムは、2010年12月より本稼働を開始。本社サーバ群のバックアップ業務をAvamarに集約・統合すると同時に、データセンターにも基幹システム用のAvamarを設置し、本社・データセンター間の相互リモートバックアップを実施している。

「以前のようなテープの掛け替え作業や煩雑なオペレーションが不要になり、大幅な業務効率化を実現できました。また、以前は内部統制対応のために、テープ保管業者の伝票をファイリングして管理する必要があったのですが、現在はAvamarのログを提出するだけで監査に対応できます」と今泉氏は満足げに語る。

コスト面での効果も非常に高い。不要になったテープ装置のハードウェア費用やバックアップメディアの費用、バックアップソフトのライセンス費用などを合計すると、約200万円のコスト削減効果が挙がっているとのことだ。

Avamarの特長である重複排除機能も大きく貢献している。バックアップ対象データの総容量は約2TBにも達するが、現在は2Mbpsの帯域で全く問題なく相互バックアップが行えている。「本社内の運用でも、以前は

2日掛けても終わらなかったバックアップが4時間程度で済んでしまいます。Avamarはリストアも非常に高速なので、万一の際の業務復旧や現場部門からの要求にも迅速に対応できます」と森山氏は語る。

ネットワークのサービス・サポートへの評価も高い。「導入前のアドバイスはもちろん、構築にあたっては当社の要望を最大限に反映させるべく、様々な技術支援を提供してくれました。期待通りのシステムが実現できて満足しています」(森山氏)。

同社では今後もAvamarの適用領域を拡げていき、さらなる効率化を図っていく構えだ。今泉氏は「最適化・コスト削減に向けた取り組みに終わりはありません。また、今後はサーバ仮想化などの新たな取り組みも実施していきますので、ネットワークの提案にも大いに期待しています」と語った。

お問い合わせ先

 **Networld**
株式会社 ネットワールド

E-mail: emc-info@networld.co.jp
URL: <http://www.networld.co.jp/>

本社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4
Daiwa神保町ビル
TEL:03-5210-5020,5031,5095

西日本事業所 〒530-0001 大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル24F
TEL: 06-7664-5400

中部支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-23-3
第2アスタービル
TEL:052-588-7611

九州支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1
九勤筑紫通ビル3階
TEL:092-461-7815